

りたるも、同時に我國の法律命令其他新聞雑誌の如きも、千字以上を使用せざることに制限せざりしを以て、非常なる不便を來し、遂に百字増し二百字増し、今は全く無制限となり終れり。

故に漢字制限は全く意味をなさず。然らば假名を用ふることは如何といふに、之を用ふるに便なる場合もあれども元來補助字として用ゐ來りしものなるを以て、之を獨立の國字としては不適なるを免れす。

勿論羅馬字と雖ども決して完全なるものにあらず長短相伴なふ。然れども其の長を取り短を補ふて、之を我國の實際に使用するに便なる様改良せば、頗る良好なる國字たるべし。今其の長所に就きて見るも、世界の各國と共に通のこと、之を學習するに容易なること、之を印刷するに便なること等にして、歐米各國の如き諸會社官廳にて用事のある場合には、之を蓄音機に向て述べ蓄音機より「タイプライター」にて印刷して直ちに之を其の所に提出して校正を謂ひ得るが如し。我國にては一時間演説せることを速記して、之を翻譯すれば、普通半紙100枚以上となり、中々大仕事なり。是等は文字の不便なる一例なるより、羅馬字の採用により此の不便を除去することを得べし。但し羅馬字にも種々ありて、歐米諸國一定し居るにはあらず。我國の如きは「ヘボン」博士が

外國人をして日本語を學ばす爲め編纂せるものを用ひ居るも、之を以て完全なりとすること能はず。尙充分研究するを肝要なりとす。云々。

此野蠻の文字

兒童集まりて一文字の読み方を争ふ、一兒曰く「是れ[ね]」の字なり、他の一兒曰く「是れ[こ]」の字なり、又他の一童曰く「是れ[ぶる]」といふ字なり、「卓子」(テーブル)の「ぶる」といふ字なりと、斯くて兒童の頭脳は惑亂せらる、嗚呼野蠻の文字日本が支那の文字を使用する間、我文明の進歩は到底遅々たるを免れざるなり、「ローマ字」なるかな速かに「ローマ字」を採用せよ。

支那が文明に遅れたるは文字の爲なり、我國が支那の文字を使用する爲めの損害を試みに金錢を以て計算すれば毎年幾億圓にも値すべし。吾人は我文明の爲めに漢字を呪ふ。(大正四年十一月二十三日萬朝報所載)

現在無線電信局

陸上及び船舶の現在無線電信局左の如し。

陸上局 大瀬崎(肥前五島)電力二十五基。落石(根室)同三

十基。銚子(下總)同十七基。潮ノ岬(紀伊)同四基。角島(長門)同四基。下津井(備前)同四基。ラサ島(琉球)同三基。富基角(臺灣)同四基。大連灣砂砲子(關東州)同七基。船舶局 南米航路三局。北米航路十九局。歐洲航路十九局。濠洲航路三局。大連上海間航路二局。大連航路四局。臺灣航路六局。青島航路一局。關釜航路二局。不定航路六局。

基は「キロワット」の意義にて讀まれたし、凡て官僚式の文章には無益の漢文を濫用す。基を以て「キロワット」を表はす如きもその例なり。一馬力を750ワットとすれば1000ワット即ち1キロワットの $\frac{3}{4}$ が1馬力となる即3キロワットとあるは約4馬力の電源を備ふるものと知るべし。

是等の如き假名にて「キロワット」と書くに如かず。又船舶局三局とあるは該航路の定期船中無線電信を備へたるもの三艘ありとの意なり。

日本玩具貧弱

Japanese Toys.—An official of the Department of Commerce and Agriculture Dspatched to America makes the following report.

Hitherto about 80 percent, of toys in America were imported from

Germany and thong it had been expected that the outbreak of the European war would diwinish the import of German playthings to a great extent, the fact nevertheless was that there was no more than 8 per cent, decrease. This gave a great disappointment to Japanese toy Manufacturers who wished to deprive German traders in toys of the American market.

The official gives an warning to Japanese toy makess to use greater care in the manufacture of playthings for foreign markets, ar there is much complaint about the inferiority in design and make of Japanese toys.